

Bruyn, Abraham de

Omnium pene Europae, Asiae, Africae atque Americae gentium habitus.

Antwerpen, Michiel Colyn excudit, ca1610(1577) (文献番号 3 - 1)

Hiler p.123 Colas 475 Lipperheide 12

ブリュイン著

ヨーロッパ、アジア、アフリカ及びアメリカのほぼ全域にわたる諸民族の服装

1577年、ブリュインがドイツのケルンで発行した「諸国民の姿」(Omnium pene gentium imaginas …) の第4版に当たるが、それにベネチアのベルテリウス(Pietro Bertellius)の「諸国民の服装」(Diversarum nationum habitus …, Patauij 1589 - 96)を模刻して加えたいわば改訂増補版である。従って本書は17世紀初頭の刊本でありながら実際は16世紀末の諸国民の服装を描いた、ごく初期のエッチングによる服装書ということができ、扉には“Habits de diverses nations”及び“Trachtenbuch der furnembsten nationen und volcker kleydungen”という仏・独語のタイトルが併記されている。

ブリュインは1540年、フランドルのアントワープに生まれ、1577年ごろまではドイツのケルンに居住して銅版画の製作と出版に従事。1580年には再びアントワープに帰ってサン・リュクの組合に登録し、エッチングの教育に携わり、同81年にはアントワープのブルジョアになり、87年ごろ同地で没した。第1の扉上部中央の小円には“天空”を配し、下部中央には地球儀を配して四周に四大州にふさわしい人物や生物が描かれている。また第2の扉上段にはヨーロッパ各国の王室を象徴する盾型紋章を、左右には“威厳”と“権力”を象徴する人物が、また下方には四大州を象徴する人物がのぞいている。これら扉絵のエッチング技術は抜群に精巧である。第1部のプレート1～58は各国の市民と軍服、第2部のプレート1～19は宗教服となっている。

